

～石をならべたり、積み上げたり、敷き詰めたりしながら、思いをふくらませて自由に表現する～

広島市立東野小学校 水野 博司

1 日時・場所 平成23年11月28日(月) 3階ルーフバルコニー

2 学年・学級 第4学年1組(男子15名 女子15名)

### 3 題材について

○ 本学級の児童は、図画工作科が好きで意欲的である。特に、豊富な材料が準備されているような題材では、材料の特徴を意識しながら思いをふくらませて造形活動を楽しむことができる。

発想や構想については、自分なりの発想を楽しもうとする傾向はあるが、発想が浮かぶまでに時間がかかったり、自由に表現することに対する自信がなく、友だちの発想を参考にしないと前に進めなかったりする児童も多い。しかし、9月の造形遊び「紙から生まれた・・・」では、トイレットペーパーを使って、ほとんどの児童が自分なりの発想を楽しむことができ、造形活動に新たな自信をもち始めた様子が見られた。

技能面では、細かい作業が苦手なため、途中で失敗感を味わうと集中力が途切れ、自分が満足できる作品を根気強く仕上げることができない児童が多い。

鑑賞に関しては、キラリタイム(造形タイム)の作品掲示板に足を運び、いろいろな作品に触れる中で、豊かな発想や表現方法に関心を持ち、自分らしさを見つめ直しながら自信を持ち始めている。

○ 本題材は、いろいろな形や色の石(砂利)を並べたり、積み上げたり、敷き詰めたりしながら、造形活動を楽しむものである。本校は、開校5年目の新設校で、施設面は徐々に整いつつあり、ブランコやジャングルジムなどの遊具も設置されたが、歴史の長い小学校にあるような雑草園や森・ビオトープなど、自然と触れ合いながら遊べるような場所はまだまだできていない。しかし、そんな中で多くの児童にとって大切な憩いの場となっているのが、ルーフバルコニー(屋上庭園)である。そこには、芝生をはった庭園とベンチがあり、空の青さと風のさわやかさを感じながら、小さな自然の中での一時を過ごすことができる。

そこで、そのルーフバルコニーを造形遊びの場とし、自然を感じるには欠かせない構成要素である「石」を材料として児童に与えることで、その手触りや色・形など素材の特徴を楽しみながら、思いをふくらませて自由に表現することを通して、ルーフバルコニーをより身近な大切な場として認識することが期待できると考えた。

○ 指導に当たっては、児童の発想をふくらませるために造園用の砂利を大量に準備する。この砂利は、主にホワイト・グレー・ブラウンの3色で、非常に軽い(水に浮かぶ)ため運び易く、並べる・敷き詰める・積み上げるなどの造形活動が広がり、さらに水との融合も可能である。

発想の段階では、なかなかアイデアが浮かびにくい児童に対する支援として、事前に準備した「並べたもの」「敷き詰めたもの」「積み上げたもの」の写真を見せたり、友だちの活動を参考にさせたり、一緒に考えたりする。

表現の段階では、児童の発想が実現できるような助言をしたり、途中経過を写真に撮ったりすることで意欲や集中力が持続するよう支援する。

### 4 題材の目標

○ ルーフバルコニー(屋上庭園)で、いろいろな形や色の石を並べたり、積み上げたり、敷き詰めたりしながら、思いをふくらませて自由に表現する。

## 5 題材の評価規準

	ア関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
題材の評価規準	ルーフバルコニーの様子(芝生・植え込み・ウッドデッキなど)を生かしながら、石の形や色に関心をもち、並べたり、敷き詰めたり、積み上げたりする活動を楽しもうとしている。	ルーフバルコニーの様子(芝生・植え込み・ウッドデッキなど)を生かしながら、石を並べたり、敷き詰めたり、積み上げたりしながら造形的な活動を思いついている。	ルーフバルコニーの様子(芝生・植え込み・ウッドデッキなど)を生かしながら、石の形や色を生かして、並べ方や敷き詰め方、積み上げ方などを工夫している。	友達の活動の楽しさに共感し、お互いの発想や工夫を認め合う。

## 6 指導と評価の計画 (全2時間)

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		観点・評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する状況 への手だて
1 2 (本時 1/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料となる石(砂利)を触り、形や色の違いを感じながら、思いをふくらませる。</li> <li>石を並べたり、敷き詰めたり、積み上げたり、(水に浮かべたり)する活動を楽しむ。</li> <li>活動中の写真を見ながら、お互いの発想や工夫を認め合う。</li> </ul>	ア 活動の様子の観察・写真 イ 活動の様子の観察・写真 ウ 活動の写真観察・写真  エ 発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>石を並べたり、敷き詰めたり、積み上げたりする活動に主体的に取り組み、造形活動を楽しもうとしている。</li> <li>石を並べたり、敷き詰めたり、積み上げたりなどの方法と場所をイメージしながら造形的な活動を思いつき、自分らしさを表現している。</li> <li>場所の特性と石の形や色を生かして、並べ方や敷き詰め方、積み上げ方などを工夫し、さらに発展させている。</li> <li>活動中の写真を見ながら、友達の活動の楽しさに共感し、お互いの発想や工夫を認め合い発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想が浮かばない児童に対しては、材料と触れ合う(見たり、触ったり、考えたりする)時間を十分保障した後、事前に準備した「ならべたもの」「敷き詰めたもの」「積み上げたもの」「水に浮かべたもの」などの写真を見せたり、一緒に考えたりする。</li> <li>活動に迷いが生じたり、自信なさそうにしている児童に対しては、意図的に写真を撮り奮起を図る。</li> </ul>

## 7 本時の目標

- ルーフバルコニー(屋上庭園)で、いろいろな形や色の石を並べたり、積み上げたり、敷き詰めたりしながら、造形的な活動を思いつく。

## 8 準備物

- (指導者) 石 ((防犯砂利: ホワイト・ブラウン・グレーなど)を入れた籠(9つ)、水槽(丸型)
- (児童) お道具箱のふた・箱 (石を運ぶためのもの)

## 9 本時の展開

学習活動	教師の支援 ☆努力を要すると判断される児童への支援	評価規準・評価方法
1 本時の目標を確認し、学習のイメージをもつ。	○ ルーフバルコニーで、石を使って活動することを伝え、意欲をもたせる。	
○ ルーフバルコニーで、いろいろな形や色の石を使って、並べ方や敷き詰め方、積み上げ方などを工夫しよう。		
○ 材料に触れたり、色を見たりして発想をふくらませる。	○ 石を色別に分けて入れた籠(8つ)を提示し、見たり触ったりさせる。 ○ 並べたり、積み上げたり、敷き詰めたりできることを知らせる。	
2 ルーフバルコニー(屋上庭園)で、いろいろな形や色の石を並べたり、積み上げたり、敷き詰めたりしながら、場の変化を楽しむ。	○ 時間内に完成しなくてもよいこと、発想が同じ友だちといっしょに活動してもよいことなどを伝える。 ☆ 発想が浮かばない児童に対しては、材料と触れ合う(見たり、触ったり、考えたりする)時間を十分保障した後、事前に準備した「ならべたもの」「敷き詰めたもの」「積み上げたもの」「水に浮かべたもの」などの写真を見せたり、一緒に考えたりする。 ☆ 活動途中で迷いが生じたり、自信なさそうにしている児童に対しては、意図的に写真を撮り奮起を図る。	ア 活動の様子の観察・写真 イ 活動の様子の観察・写真 ウ 活動の写真観察・写真
3 児童の感想を聞き、片付けをする。	○ 感想を聞くことで、次時への意欲を持たせる。 ○ 活動途中のものは、次時までそのままにしておき、残った材料だけ片付ける。	